

鶏肉情勢

項目	内容
供給	<p>1. 国内</p> <p>(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和3年10月下旬実施)によると9月の推計実績は処理羽数59,493千羽(前年比100.8%)・処理重量177.7千ト(同104.6%)となった。前月時点の計画値より処理羽数は0.1%下方修正し、処理重量は1.6%上方修正となった。処理羽数はほぼ予定通りで重量ベースでの増加が大きく、気候の良さが好調な増体を維持できたことが伺え、全体的に安定した生産状況となった。</p> <p>(2) 生産見込みは10月は処理羽数・処理重量ともに前年を少し下回る見通しで11月は処理羽数・処理重量ともに前年を上回り、順調に推移すると見込まれている。12月は処理羽数が前年同月比で100.9%、処理重量で99.4%とほぼ前年並みの計画である。一部では気温低下により大腸菌症による育成低下が発生している農場も聞かれるが、各産地の増体の向上に期待したい。</p>
	<p>2. 輸入</p> <p>(1) 財務省10月28日公表の貿易統計によると令和3年9月の鶏肉(原料肉)の輸入量は4万5,193トで前年同月の実績を9.0%上回った。10月の見通しについてはタイでコロナ禍による生産段階や処理場等でのクラスター発生により感染拡大が止まらず、製造ができていない工場もあるため、一時的に輸入量が減少することが予測される。11月以降もタイ産の輸入量は減少傾向で、タイ産切身等の代替商品としてブラジル正肉等の輸入量の増加が見込まれる。ブラジル正肉は世界的に旺盛な需要増加に加え、飼料の高騰、為替動向も加わって高価格の仕入になるのではと推測される。</p> <p>(2) 鶏肉調整品の輸入量は3万1,797トで前年同月比90.3%と前年を大きく下回る結果となった。コロナの影響で工場稼働が落ちているタイ産の前年実績が22.7%も下回ったのが大きな要因と推測される。一方で中国産の輸入量は前年同月比110%と増加している。一部外食や量販店においては、冷凍唐揚げの原料を輸入もの単独から国産併用に切り替えて販売している店舗も多くなってきているため、今後の国産鶏肉の拡大も期待される。</p>
需要	<p>1. 家計消費</p> <p>(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、令和3年8月、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)は数量4,315g(前年比102.5%)、金額6,742円(同100.1%)と前年を上回った。鶏肉は数量1,449g(同98.4%)・金額1,341円(同99.5%)でほぼ前年と同水準に回復している。一方、加工品については加工肉全般で金額1,639円(同97.9%)と前年を下回った。家計消費は外出の自粛等で弁当や冷凍調理食品を食べる人が増えたこと等により、少し低迷が続いていたが、生鮮肉・加工品ともに徐々に数量・金額とも増加しており、今後、気温の低下に伴い鍋需要も高まっていくことから鶏肉消費が増加することを期待したい。</p>
	<p>2. 量販・卸</p> <p>(1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、令和3年9月の食品売上高は全店ベースで前年比102.3%と前年を上回った。また、生鮮3部門の売上高は全店ベースで前年比102.2%、既存店ベースでも同101%と前年を上回った。また、畜産部門の売上高は約1,137億円(同102.7%)、既存店ベース(同101.2%)と前年を上回った。「引き続き内食需要は高水準を維持しているが国産、輸入品ともに価格が上昇しており販促を打ちにくく、伸び悩みをみせた。牛肉は焼肉用が好調に推移しているが和牛が前年より価格が高く、伸び悩んだ。豚肉は前年を上回る売上となっており、挽肉やスライスが好調となった。鶏肉も好調に推移した。ハム・ソーセージなど加工肉は前年好調の反動で不振となった店舗が多い」と報告された。総菜部門の売上高は全店ベース(同106.8%)、既存店ベース(同104.9%)ともに前年を上回り、高水準を維持している。「外食店の時短営業による家飲み需要として、焼鳥やつまみ類が引き続き堅調に推移。米飯類やベーカリー、寿司類や冷麺類、揚げ物も好調に推移した。野菜の相場高騰により、サラダ惣菜が好調となった。お彼岸需要が回復したほか、催事が徐々に再開している地域もみられはじめ、オーダブルなどの予約も入り始めた」とコメントもみられた」と報告があった。一時、野菜の高騰もあつたが徐々に価格も安定してきているため、鍋やすき焼き等の薬物を使用した家庭の定番料理も増えるのではないかと期待される。</p>
	<p>3. 業務・加工筋</p> <p>(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる令和3年9月度の鶏肉加工品仕向内量は、前年比103.7%の4,549,3トとなった。うち国内物は同96.5%の3,479.1トと下回り、輸入物は同137.2%の1,070.2トと上回った。前月同様に輸入原料を使用した加工品の製造量は多くなっており、原料価格の高騰も見込での製造かと推測される。</p>
在庫	<p>1. 令和3年(2021年9月)</p> <p>(1) (独)農畜産業振興機構の推計期末在庫では国産33.8千ト(前年比121.6%・前月差▲1.1千ト)、輸入品107.6千ト(同77.7%・同▲3.8千ト)と合計で141.4千ト(同85%・同▲4.9千ト)となった。10月、11月の在庫についても輸入量の減少が見込まれるため、前年を大幅に下回ると推測される。</p>
	<p>2. 見通し</p> <p>(1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(令和3年10月27日公表)では、9月の出回り量は国産135.3千ト(前年比102.4%・前月差+1.9千ト)、輸入品48.1千ト(同113.9%・同+1.2千ト)と合計で183.4千ト(同105.1%・同+3.1千ト)となった。10月から11月頃の出回り量は前年を少し上回ると推測されているが、引き続き、タイ等からの正肉関係、加工品が減少する見込みで輸入在庫は減少傾向になると推測される。国産鶏肉在庫については年末商材等も少しずつ在庫になってきているが、依然としてむね肉・ささみの加工原料やペット関係等の需要の高まりもあり、減少が見込まれる。</p>
相場	<p>1. 令和3年10月動向</p> <p>(1) 令和3年10月の月平均相場は、もも肉603円/kg(前月比+23円)・むね肉328円/kg(同+12円)正肉合計で931円/2kgと前月比で35円上回り、前年比では7円上回った。もも肉は月初591円で始まり、月を通じて上げ基調となり、月末611円と20円高で相場の上昇が伺える。むね肉は月初323円で始まり、前月と比較すると緩やかな上昇傾向であり、月末330円と7円高となった。月の後半では相場の上昇も落ち着いてきたが、依然として輸入鶏肉の影響もあり、むね肉の相場は高水準を維持している。</p>
	<p>2. 見通し</p> <p>(1) 気象庁発表の向こう1か月の見通しによると、11月の気温は全国的に平年より高いと予測されている。全国の緊急事態宣言も解除となり、外食の営業時間は全体的に時間制限がなくなり、少しずつ回復の兆しが見えてきている。量販店では野菜価格の高騰も落ち着いて本格的な鍋シーズンを控え、生つみれやもも肉切身、むねしゃぶしゃぶ用等の商品も多く並んでいる。もも肉の販売状況も良くなり、相場はやや上げの月平均620円と予測する。むね肉は依然として輸入量の減少に加え、唐揚げ原料等の加工筋向けの引き合いが強いことから、持ち合いの月平均330円と予測する。</p> <p>(2) テーブルミートは依然、内食需要の増加に支えられており、輸入原料の不足が見込まれる中で国産鶏肉の動きがよくなってきている。もも肉は需要期となってきており、少しずつ上昇していくのではないかと推測される。</p>

実績										
生産状況										
										単位:千羽、千トン、%
生産状況	R3年9月推計実績		R3年10月計画		R3年11月計画		R3年12月計画			
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	66,257	100.1%	70,444	98.4%	61,599	102.8%	68,628	98.8%		
処理羽数	59,493	100.8%	63,041	98.8%	62,424	102.9%	67,024	100.9%		
処理重量	177.7	104.6%	188.6	99.1%	187.2	102.1%	201.3	99.4%		

※参考資料: ㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」

輸入動向											
単位:千トン、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R3年6月	42.8	50.7	84.5	40.5	41.6	97.3	83.3	92.3	90.3	51.4	48.6
R3年7月	44.7	51.6	86.7	43.9	38.4	114.3	88.6	90.0	98.5	50.5	49.5
R3年8月	46.9	40.3	116.4	44.1	33.2	132.6	91.0	73.5	123.7	51.6	48.4
R3年9月	45.2	41.5	109.0	31.8	35.2	90.3	77.0	76.7	100.4	58.7	41.3
R3年累計	426.0	399.1	106.7	353.9	343.3	103.1	779.9	742.4	105.1	54.6	45.4

鶏肉の消費動向(2人以上の世帯)							単位:グラム、円、%			相場(年別・暦年)			単位:円		
履歴	数量			金額											
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	もも肉	むね肉	計
R3年6月	1,461	1,599	91.4	1,328	1,408	94.3				H26年	626	294	920		
R3年7月	1,440	1,530	94.1	1,265	1,364	92.7				H27年	639	336	975		
R3年8月	1,449	1,473	98.4	1,341	1,348	99.5				H28年	621	255	876		
R3年平均	1,496	1,565	95.6	1,372	1,440	95.3				H29年	626	315	941		
										H30年	595	282	877		
										R元年	585	243	828		
										R2年	614	269	883		

※参考資料: 総務省統計局HP

在庫状況(推定)												
単位:千トン、%												
履歴	国産			輸入品			合計					
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R3年6月	34.1	18.5	183.9	121.7	152.1	80.0	155.8	170.6	91.3			
R3年7月	34.5	29.5	117.0	113.7	140.5	80.9	148.2	170.0	87.2			
R3年8月	34.9	28.0	124.6	111.4	139.0	80.1	146.3	167.0	87.6			
R3年9月	33.8	27.8	121.6	107.6	138.5	77.7	141.4	166.3	85.0			

※実績参考資料: 畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別)										
単位:円、%										
品名	もも肉			むね肉			正肉合計			
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
R3年7月	600	598	100.3	301	261	115.3	901	859	104.9	
R3年8月	583	596	97.8	308	272	113.2	891	868	102.6	
R3年9月	580	609	95.2	316	281	112.5	896	890	100.7	
R3年10月	603	632	95.4	328	292	112.3	931	924	100.8	
R3年11月	(620)	654	94.8	(330)	302	109.3	(950)	956	99.4	※()は見通し
R3年12月	(640)	687	93.2	(330)	311	106.1	(970)	998	97.2	
R3年平均	644	603	106.8	308	262	117.6	952	865	110.1	※1-10月平均